

東北・宮城県の霊島「金華山黄金山神社」へ。神秘的なパワーをもらう1泊2日の旅

Par Miho Moriya, 10 Nov. 2018 15:01



東北地方・宮城県にある金華山黄金山神社は、金運にご利益のあるパワースポット。「3年連続でお参りに行くと、一生お金に困らない」とも言われています。民家のない島には、人よりも"神の使い"のシカが多く生息し、とても静かで神秘的な雰囲気。1泊して普段とは違った体験を試みませんか。

「3年連続でお参りに行くと、一生お金に困らない」と言い伝えられる金運スポット、金華山黄金山(きんかさんこがねやま)神社(以下、黄金山神社)。宮城県で、日本で初めて金が産出されたことを祝し、建てられた神社です。黄金山神社は、平安時代の終わり頃から権力者の寄付が行われ、大切にされてきた場所です。島全体は神様が宿る聖域として、修験者も多く訪れ、神聖な場所としても崇められてきました。また、江ノ島神社、厳島神社に並ぶ「日本五大辯財天」(※1)としても有名。ここの参拝方法は、神社と同じ敷地内の宿坊で、1泊するスタイルが主流だったそう。今は日帰り参拝も多いですが、神社ならではの儀式を体験したり、人混みから離れ静かな時を過ごしたい方には、宿泊参拝がオススメです。

黄金山神社のある「金華山」は、東北地方の宮城県石巻市にある、小さな孤島。石巻市へは、仙台から電車で東へ約1時間。石巻駅から港までバスなどを使い、港から金華山へはフェリーで向かいます。到着して驚くのはシカの数！ 島に暮らす人は神社で働く数名のみですが、野生のシカは約500匹も生息しています。サルも約250匹いるそうですが、人から隠れているのか、あまり見かけませんでした。ちなみにシカは「神の使い」として大切に保護されているそうです。可愛い様子に思わず近づきたくなりますが、繁殖期(9月～11月)のオスや、出産・子育て期(5～7月)のメスは凶暴になることがあるので注意してください。とは言え、基本的にはおとなしい動物なので、のんびりエサを食べている姿に癒されますよ。

島には黄金山神社をはじめ、8つの神社があります。山の中にあるので巨木や天然水など、自然のエネルギーも多く感じられる場所。ここではエネルギーチャージにぴったりの方法を紹介します。

龍の口から水が流れ出ているこちらは、金華山辯財天の銭洗い所。写真にあるザルに小銭を入れて洗い、財布にいれておくといわれています。黄金山神社には、水道がありません。自然によってろ過された、ミネラル成分の豊富な天然水が金華山で作られ、神社ではその水を使って生活しています。水の神様を祀る神社もあるので、ぜひお参りに訪れてみてください。

銭洗い所の周辺は景色のきれいな場所。金華山の頂上に祀られた海の神様を参拝する、「大海祇神社遥拝所(おおわだつみじんじゃようはいじょ)」も設けられています。頂上までは遥拝所から登山をして1時間ほどかかるので、時間が無い方は、こちらへお参りしましょう。

境内には迫力満点の巨木が多数。「相生(あいおい)の松と楓(かえで)」は、松と楓が絡み合って1つの木のようになっています。種類の異なる2つの木が力強く寄り合い圧巻の迫力。

写真右の木は樹齢約800年も経つ御神木。神様が宿る木と言われています。幹が大きく割れていて、人がすっぽり入ってしまうほどの大きさ。ほかにも幹が大きくデコボコしているタブノキ(写真左)など、大きな木が各所でそびえたち、自然が作り出した大きな存在からエネルギーを感じました。

神様を祀る本殿に入れるのは1年のうち3週間のみ。5月の行事「初巳大祭(はつみたいさい)」、1月1日～7日の「七朝祭(ななちょうさい)」、旧正月(※2)「旧正月七朝祭」の時期です。普段は参拝者がお参りをする拝殿を通してお参りできます。100段近くある階段を上ると拝殿に到着です。2019年は5月8日～14日が初巳大祭本祭。日にちは毎年変わります。

神社敷地内には参拝者向けの宿泊施設「参集殿(さんしゅうでん)」があります。黄金山神社ならではの体験をするためにも、1泊するのがオススメ。1泊2日の過ごし方を紹介しましょう。お昼頃に到着したら神社を参拝、16:00～18:00の間に天然水のお風呂へ入浴し、夜は周辺で取れた魚料理をいただき、静かに過ごします。そして翌朝6:30～7:30頃から、神道の儀式「一番大護摩祈祷(いちばんおおごまきとう)」が体験できます。朝の時間は時期によって異なります。宿泊時に神社の方に確認してみてください。

大護摩祈祷とは、参拝者の願いが書かれた「護摩木(ごまき)」(写真)を焚いてお祈りすること。護摩とは本来、仏教の儀式の1つですが、明治時代以前の「神仏習合(※3)」の名残で行われているそう。神社では珍しい儀式です。特に黄金山神社では、"護摩の火によって災難を追い払い、焼滅を計り、新しい運勢を生じさせる"ことで金運アップや商売繁盛を祈祷しています。

巫女さんが神様へ舞を奉納(※4)します。護摩木を焚いた煙が漂っていて、神秘さが一層増していました。祈祷が終わった後は、「御神酒(おみき)」と呼ばれる日本酒を一口いただきます。神様の霊力が宿っているとされる、神聖なお酒です。宿泊は朝、夜食と祈祷がついて税込10,000円～。詳細は公式HPをご覧ください。日帰りで祈祷を受ける場合は5,000円～必要です。